

【樹木の部屋】

オオデマリ（スイカズラ科ガマズミ属）(*Viburnum plicatum* var. *plicatum*)

和名；オオデマリ **別名**；テマリバナ **英名**；Japanese Snowball

マツムシソウ目 常緑低木

原産地；日本 **花言葉**；約束、私は誓います **花の色**；白



写真－1 オオデマリの樹形

撮影日：2013年5月5日

撮影場所：奈良市唐招提寺にて

撮影者：Mさん

唐招提寺にケイカ(瓊花)の見学に訪れた際、ケイカ(瓊花)の近くに咲いていました。

高さが2～3mになる低木。5～6月に球状に密集した花を咲かせ、花は咲き始めが黄緑色で、開くと白色に。この花は雄しべと雌しべの退化した「装飾花(飾り花)」でタネは付けません。本種は ヤブデマリの両性花がすべて装飾花に変化した栽培種とされています。

写真－2 オオデマリの花 →

撮影日：2013年5月5日

撮影場所：奈良市唐招提寺にて

撮影者：Mさん

花のかたまりは直径10cmを超し、まさしくオオデマリ(大手鞠)の名がぴったりです。英名のスノーボールもこの花姿から来ています。花の咲き方や雰囲気はどこことなくアジサイに似ています。秋に紅葉し、冬は落葉します。

*ヤブデマリ [*V. plicatum* var. *tomentosum*]

日本(主に温帯～暖帯)、台湾、中国に分布する落葉樹でオオデマリの野生種。樹高は3m程に・・。

中心に両性花が固まって付き、その周りぐるり

と囲むように装飾花が付きます。すべてが装飾花になるオオデマリほど花のボリュームはありませんが、ガクアジサイに似たその姿と際立つ白花は素朴の中にも美しさがあります。



*両性花⇒一つの花に雄しべと雌しべがあり、実を付けることができる花

【樹木の部屋】



写真 - 3 オオデマリの葉

撮影日：2013年5月5日

撮影場所：奈良市唐招提寺にて

撮影者：Mさん

葉は丸に近い卵形で縁にギザギザがあります。葉脈の部分がへこんで、表面にくっきりとした凹凸が出来ます。オオデマリの学名はビバーナム・プリカツム・プリカツムですが、プリカツム

ムとは「プリーツ(ひだ)のある」という意味で、この葉の様子から・・・。

<ちょっと一言>

あるていど樹高は低く収まるので、庭木のほか鉢植えにも適します。が、切り花は水の吸い上げが悪いので不適です。園芸品種に1本の木からピンクと白の花を咲かせるジェミニがあるそうです。春に小さな花を球状に咲かせるコデマリはバラ科の花木でオオデマリとは異なる植物です。

基本の剪定

- ・枯枝やからまって混み合っている部分の枝を整理。
- ・古い枝は勢いが衰え花も小ぶりになるので三年生くらいの枝は切り落として新たに伸びてくる若い枝に世代交代させる。
- ・枝を切る際は枝分かれしている分かれ目の部分や付け根から切り取り、できるだけ自然に近い樹形に仕立てる。ただし、冬はすでに花芽が枝の節にできているので、短い枝の先端を切らないよう要注意です。花芽は葉芽に比べると大きくふくらんだ形をしているので見分け易いです。
- ・花後に樹形を整える程度の軽い剪定を行います。

樹形を整える切り戻し

- ・全体の樹形を整える場合は、直立して高く伸びる枝をどの部分で切るかで決まります。
 - ① 大きく育てる場合は切らずにそのままにします。
 - ② 数を増やして横にボリュームを持たせたい場合は途中で切り戻します。
 - ③ 大きくしたくない場合は付け根から切り取ります。